

第 11 回 会 議 録

会議名	<input checked="" type="checkbox"/> 編さん委員会 <input type="checkbox"/> 編集委員会 <input type="checkbox"/> _____ 部会
-----	--

令和元年 8月20日	開催場所	中央公民館中会議室 午後2時00分～4時20分
出席者・委員	林市長・清水副市長・太田教育委員会代表・杉浦文化財保護委員会代表・近藤文化協会代表・小嶋区長会代表・西宮編集委員会代表・堀木田企画部長・水谷総務部長・野村教育部長	
事務局	奥村課長・鈴木課長補佐・井上・中川・居波	
<p>事務局：第11回知立市史編さん委員会を開催いたします。宇野委員・大橋委員・新美委員につきましては、ご都合によりご欠席されるというご連絡をいただいております。従いまして、本日まで出席の委員は13名中の10名でございます。過半数に達しておりますので、知立市史編さん委員会規程第5条第2項により、本委員会は成立していることをご報告いたします。本委員会の会議録につきましては、各委員を記名の上、ホームページにて公表いたしますのでご了承いただきますようお願いいたします。</p> <p>1 あいさつ</p> <p>林 会 長：本日は、第11回知立市史編さん委員会にご出席賜り、誠にありがとうございます。平成20年度からはじまった市史編さん事業は、昨年度刊行の「資料編 民俗」で10年が経過いたしました。委員の皆様方や関係者の皆様方のお力添えによって第6回配本まで刊行することができました。このままでは失われてしまう貴重なものや記憶、歴史をしっかりと後世に繋いでいくというのはとても大事なことだと考えております。また、それと併せて、これらを見つめることは、未来の知立の在り方やこの地域の発展についてヒントを与えてくれることだとも思っております。市史編さん事業というのは、大事な事業だと位置づけております。今年度は「別巻 八橋編」を刊行する予定でございます。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、9月22日（日）開催のイベント「知立神社のまつり」では知立神社の洋間をお借りし、鬼頭秀明氏（民俗部会長）を講師にお招きして色々とお話いただきます。この日は秋葉まつりが開催されます。講演の後に秋葉まつりをご覧いただくことで、これまでと違った形で楽しめるのではないかと思います。ちなみに、昨年度刊行させていただ</p>		

いた「資料編 民俗」では秋葉まつりについても掲載しております。この資料編では、約150頁にわたって知立神社の祭り関係を取上げております。知立神社は東海道の三大社と言われており、知立神社を研究される方にとっては大変貴重なものになるであろうと思われます。また、これが私たちの誇りにもなっていくものであるとも思っております。本日もよろしく願いいたします。

2 委嘱、委員紹介

事務局：委員紹介につきまして、本年度は2名の方が交代しております。区長会代表の小嶋委員と企画部長の堀木田委員でございます。ご挨拶をよろしく願いいたします。

小嶋委員：区長会を代表させていただきまして、編さん委員となりました小嶋でございます。知立市のために貢献したいということで、自分をはじめ区長会で一団となって頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

堀木田委員：昨年度まで、事務局側として大変お世話になりました堀木田と申します。今年度から所属が代わりまして、市史編さん委員ということで関わらせていただくことになりました。よろしく願いいたします。

事務局：ありがとうございました。配布資料の「市史編さん委員会会場図」と「市史編さん委員名簿」によりご確認をいただき、ご紹介とさせていただきたいと思っております。

3 報告

(1) 平成30年度活動実績について (資料1)

事務局：資料1により編集委員会及び各部会ごとに概要の説明をする。

林会長：ご質問はございませんか。

委員：特に無し

(2) 令和元年度活動計画について (資料2)

事務局：資料2により編集委員会及び各部会ごとに概要の説明をする。

林会長：ご質問はございませんか。

委員：特に無し

(3) 別巻「八橋編」の販売価格について (資料3)

事務局：これまでに刊行した市史の算定根拠を踏襲し、①他市の販売価格及び前知立市史の販売価格を参考、②新編知立市史としての価値、③市民の皆様に購入していただける価格はどのくらいか、④印刷製本費落札額から購入者負担と公費負担の割合を考慮いたしまして、「八橋」の販売価格を3,500円とさせていただきました。

林会長：ご質問はございませんか。

委員：特に無し

林 会 長：次は「4 講話」ですが「5 その他」を先に行い、最後に講話をお聞きしたいと思いますので順番を入れ替えさせていただきます。

5 その他

事 務 局：「新編知立市史刊行記念講演会 実施報告」により講演会の実施報告を行う。また、9月22日開催「新編知立市史刊行記念行事 知立神社のまつり」の概要を説明する。

林 会 長：何かご意見はございますか。

近 藤 委 員：700部ずつ刊行されますが、現在どれくらい販売されたのですか。

事 務 局：700部のうち、350部は関係者や各機関等に献本させていただいております。昨年度刊行されました「資料編 民俗」に関しましては、7月末現在で23部となっております。ご購入者につきましては、シリーズで購入される方、その分野にご興味がある方や研究されている方が多いかと思われまます。過去に実施いたしましたアンケートの結果を受けまして、市史に親しんでいただけますよう昨年度は「ミニ昆虫展」「植物観察会」「ホタルミミズ観察会」を、今年度は「ちょっと昔の道具展」を開催いたしました。「知立神社のまつり」講演会も予定しており、市史の周知と販売に力を入れております。

林 会 長：今までの全体の売上数はいかがですか。

事 務 局：これまでの売上数といたしまして、平成23年度刊行「池鯉鮒宿本陣御宿帳」・平成27年度刊行「原始・古代・中世」はともに98部、平成28年度刊行「文化財」は104部、平成29年度刊行「近代・現代」は57部、平成30年度刊行「近世」は38部、また同年度刊行「自然」は19部となっております。

小 嶋 委 員：98部というのはどう受け止めておられるのか、また今後の対策等を教えてください。

事 務 局：700部のうち350部を献本し、残りの350部のうち100部前後しか売れていないというのは少ないと捉えております。それを受け、行事等を行ないまして市史について知っていただき、購入へ繋げていくように努めていきたいと考えております。

小 嶋 委 員：販売対策を行なってから次の市史を刊行した方が良いのではないのでしょうか。

事 務 局：市民の方に「現在、市史の編さんに取り組んでいる」ということを十分に周知できていないと捉えております。そのために、さまざまな刊行行事を開催しております。また、図書館等で市史を閲覧出来ますので、購入まで繋がっていない点につきましてはまだ周知が足りていないと受け止めております。

小 嶋 委 員：在庫があるのに、毎回700部を販売部数とするのは多すぎるのではないのでしょうか。

西 宮 委 員：「市史」などの自治体史は全巻が売れ増刷がかかるという性格の書籍ではなく、刊行されて以降20年30年と受け継がれていくものですので、単年度で消化するのではなく長期間をかけて販売するものだと捉えていただく必要があります。しかし、在庫が山積みであるのは良いとは言えないので、もう少し宣伝等をお願いしたい次第です。

また、在庫が多いから販売部数を減らすというのは、単価の上昇等の問題もありますので、部数の変更は難しいと思われます。

林 会 長：「新編知立市史」以前に市史が編さんされたのは、昭和50年代に刊行された「知立市史」です。市民の方よりこの市史の購入希望が出ているのですが、こちらはもう完売しており、古書店等でご購入いただいている状況です。普通の書籍とは異なり、長期間をかけて購入される書籍なので、あと50年ほどで250部しかないというのは足りないのではと考えております。

杉 浦 委 員：市史刊行の周知活動や販売促進活動について、どのような活動や計画をされているのでしょうか。

事 務 局：市史の販売のために、いろいろな研究会に参加をさせていただいております。

- ・6月20日「西三河高等学校社会科教育研究会総会及び第1回研究会」（知立神社）にて、市史編さん係職員による講演及びPR・販売
- ・7月14日「信貴山城の魅力」講演会（信貴山大本山玉蔵院富堂閣）にて、PR・販売
- ・8月4日～5日「全国城郭研究者セミナー」（豊橋市公会堂）にて、PR・販売
- ・8月29日「知立市夏期研修会研修講座」（中央公民館）にて、市内小中学校教員への市史編さん係職員による講演及びPR・販売
- ・9月11日「知立郷土研究会」（中央公民館）にて、市史編さん係職員による講演及びPR・販売
- ・「生涯学習推進講座」（中央公民館）における執筆者や市史編さん係職員による講演において、PR・販売

今後もしろいろな場に出向いて、PR・販売を行っていく予定です。

太 田 委 員：子どもにも市史の良さが伝わり、市史への興味が湧くと良いと思います。講演会の内容をもう少し子ども向けにさせていただいたり、市民が知らない知立の面白い話を広報などに掲載していただいたりして欲しいです。

小 嶋 委 員：先ほどの販売部数についてですが、回収が長期に亘る場合、会計処理はどのように行なわれるのでしょうか。

清 水 委 員：単年度での歳出で行なっていますので、今年度の業者への支払額は今年度の予算からお支払いします。収益額は毎年度の歳入となり、長期間にわたっての回収となります。

4 講話

題 名：別巻「八橋編」について

講 師：知立市史編集委員会 代 表 西宮 秀紀 氏
文化財調査委員 神谷 浩 氏